



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月30日  
東・名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所  
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 英男 (TEL) 052-963-7501  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	412,722	△15.8	10,070	△59.3	12,642	△48.0	4,516	△58.9
2020年3月期	490,421	△9.7	24,768	△26.8	24,298	△29.2	10,987	△48.1
(注) 包括利益	2021年3月期 32,439百万円( )		2020年3月期 8,886百万円( )					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	105.96	—	1.6	2.0	2.4
2020年3月期	257.76	—	3.9	3.8	5.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 △189百万円 2020年3月期 760百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	665,506	339,353	45.6	7,111.48
2020年3月期	625,899	309,136	43.7	6,417.37

(参考) 自己資本 2021年3月期 303,143百万円 2020年3月期 273,561百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	33,766	△29,395	2,999	65,558
2020年3月期	41,033	△39,326	10,526	57,843

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	55.00	—	15.00	70.00	2,984	27.2	1.1
2021年3月期	—	10.00	—	25.00	35.00	1,492	33.0	0.5
2022年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00		27.2	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	255,000	42.1	18,000	—	18,500	—	11,500	—	269.78
通期	500,000	21.1	35,000	247.6	36,000	184.8	23,500	420.3	551.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	43,448,769株	2020年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期	821,449株	2020年3月期	820,446株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	42,627,902株	2020年3月期	42,628,998株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	245,504	△19.5	5,073	△69.8	9,001	△57.2	6,335	△44.8
2020年3月期	304,819	△10.6	16,792	△12.3	21,049	△13.7	11,483	△27.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	148.58		—					
2020年3月期	269.31		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	472,864	215,387	45.5	5,051.36
2020年3月期	434,175	189,484	43.6	4,443.78

(参考) 自己資本 2021年3月期 215,387百万円 2020年3月期 189,484百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. 補足説明資料 .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、年度前半は厳しい状況で推移しましたが、年度後半にかけては輸出や鋳工業生産に持ち直しの動きがみられ、景気は回復基調に転じました。しかしながら、足元では新型コロナウイルスの変異種等により感染症が再拡大しており、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、第1四半期を底に回復基調となり、第3四半期以降は前年同期を上回る水準まで回復しましたが、年度累計においては、前期比で減少しました。産業機械の受注は経済活動の停滞で減少していましたが、第3四半期から回復基調となり、第4四半期については、外需の牽引により前年同期を上回る水準まで回復しました。また半導体関連の受注は、設備投資の回復により堅調に推移しました。この結果、足元での受注は回復しているものの、年度前半における減少の影響を大きく受け、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。一方、原材料・資材関係については、鉄屑価格は第3四半期から国内需給のタイト化および国際価格の上昇により急激に高騰しましたが、前期対比では概ね同水準となり、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格は下向きとなりました。

この結果、当連結会計年度の連結経営成績は、売上高は前期比776億98百万円減収の4,127億22百万円、経常利益は前期比116億56百万円減益の126億42百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比64億71百万円減益の45億16百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前期比で数量が減少しました。工具鋼も、足元では自動車関連や中国向けの受注を中心に回復の動きがあるものの、前期比では数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、概ね前期と同水準となり、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格は下向きとなりました。

この結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前期比19.7%減少の1,458億42百万円、営業損益は、一部連結子会社における退職給付債務の計算方法の変更による影響もあり、前期比77億80百万円減益の26億32百万円の損失となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、半導体関連の受注は設備投資の回復により堅調に推移しましたが、自動車関連や産業機械向けの受注は回復基調にあるものの、前期比では数量が減少しました。磁石製品および粉末製品も、自動車関連需要で回復基調となりましたが、前期比では売上高が減少しました。

この結果、当連結会計年度における機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の減少により前期比10.7%減少の1,494億20百万円、営業利益は前期比14億65百万円減益の121億72百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、重電需要が好調に推移しましたが、航空機需要等が減少し、売上高は前期比で減少しました。エンジンバルブ部品・型鍛造品は自動車生産の減少を受け、精密鍛造品は、自動車生産の減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、それぞれ売上高は前期比で減少しました。

この結果、当連結会計年度における自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の減少により前期比17.0%減少の807億50百万円、営業損益は前期比25億40百万円減益の21億9百万円の損失となりました。

#### ④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉の受注減少およびメンテナンス事業の案件減少により、当連結会計年度におけるエンジニアリングの売上高は、前期比24.0%減少の202億5百万円、営業利益は前期比21億1百万円減益の8億58百万円となりました。

#### ⑤流通・サービス

当連結会計年度における売上高は、前期比5.5%減少の165億4百万円、営業利益は前期比7億94百万円減益の17億86百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当社グループの当連結会計年度末の総資産は、前期末に比べ396億7百万円増加し6,655億6百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「現金及び預金」の増加77億56百万円、「受取手形及び売掛金」の増加81億90百万円、「投資有価証券」の増加286億16百万円、減少の主な内訳は、「たな卸資産」の減少86億41百万円でありま

す。

総資産の増減の主な内訳と要因は、下記のとおりであります。

- ・「現金及び預金」は、新型コロナウイルス感染症に伴う事業や金融環境の変化に対応するため手元資金の流動性を高めたことにより増加しております。
- ・「受取手形及び売掛金」は、第4四半期以降に売上が伸長したため増加しております。
- ・「投資有価証券」は、保有株式の時価の上昇等により増加しております。
- ・「たな卸資産」は、高水準となっていた前期末在庫の適正化を図ったことにより減少しております。

また、当社グループの当連結会計年度末の非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べ302億17百万円増加し3,393億53百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、親会社株主に帰属する当期純利益45億16百万円の計上等による「利益剰余金」の増加42億21百万円、保有株式の時価の上昇等による「その他有価証券評価差額金」の増加212億11百万円であります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は45.6%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ77億15百万円増加し、655億58百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、337億66百万円（前期比72億67百万円の減少）となりました。収入の主な内訳としては、税金等調整前当期純利益100億65百万円、非資金損益項目である減価償却費259億12百万円、たな卸資産の減少83億33百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加79億49百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、293億95百万円（前期比99億30百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出278億19百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、29億99百万円（前期比75億27百万円の減少）となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入327億91百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出177億73百万円、コーポレート・ペーパーの減少70億円であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	43.9	43.7	45.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	28.6	23.7	32.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	6.2	4.7	5.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	29.5	50.5	41.1

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

・指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

・株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

・営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン普及により、徐々に正常化に向かうことが期待されますが、変異種の流行による感染の再拡大など、先行きについては依然として不透明な状況にあります。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、今後も緩やかな回復が見込まれますが、足元の半導体不足による自動車メーカーの減産リスクには注視していく必要があります。また原材料価格の高騰や、米中の通商問題に起因する景気後退懸念など、当社収益に影響を与えるリスク要因も複数認識しております。このような状況下、固定費を中心とした徹底的なコスト圧縮策を引き続き推し進めることで、事業への影響が最小限となるよう努めてまいります。

次期の業績につきましては、足元の受注状況および世界経済が徐々に正常化すると仮定し、売上高5,000億円、営業利益350億円、経常利益360億円、親会社株主に帰属する当期純利益235億円と見込んでいます。

#### (5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

配当の方針につきましては、安定した利益還元を継続を基本としておりますが、連結業績と配当性向および当社の資金需要、財政状態も総合的に勘案し、株主の皆様ごの期待にお応えしていきたいと考えております。業績に応じた利益配分を考慮する上での基準となる配当性向につきましては、連結配当性向20～25%を目安としております。一方、内部留保資金の用途につきましては、有利子負債を削減し財務体質の改善を図るとともに、企業価値の継続的な向上のための設備投資、研究開発、新規事業の拡大などに活用することを基本としております。

当期の配当につきましては、上記の方針に基づき、中間配当を1株につき10円実施しました。期末配当は1株につき25円とさせて頂く案を本年6月の定時株主総会にお諮りする予定です。

次期の配当につきましては、新たな配当方針を2023中期経営計画にて検討してまいります。現時点においては、中間期1株につき75円、期末75円（通期150円）を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を適用することとしておりますが、国際財務報告基準（IFRS）と日本基準の差異の把握や当社グループへの影響の調査などIFRS適用に関する検討を進めております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,558	67,314
受取手形及び売掛金	102,254	110,444
電子記録債権	16,027	15,473
たな卸資産	127,174	118,532
その他	5,721	7,696
貸倒引当金	△93	△97
流動資産合計	310,641	319,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	205,368	208,924
減価償却累計額	△121,904	△127,043
建物及び構築物（純額）	83,464	81,881
機械装置及び運搬具	492,693	498,345
減価償却累計額	△390,716	△399,175
機械装置及び運搬具（純額）	101,976	99,170
土地	37,710	36,408
建設仮勘定	6,831	6,946
その他	29,731	30,907
減価償却累計額	△22,221	△23,467
その他（純額）	7,509	7,439
有形固定資産合計	237,492	231,846
無形固定資産	1,619	2,721
投資その他の資産		
投資有価証券	65,330	93,947
繰延税金資産	2,182	2,517
退職給付に係る資産	5,262	12,182
その他	3,545	3,010
貸倒引当金	△175	△83
投資その他の資産合計	76,145	111,574
固定資産合計	315,257	346,142
資産合計	625,899	665,506



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,828	43,292
電子記録債務	25,993	22,297
短期借入金	80,927	70,141
コマーシャル・ペーパー	17,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	2,861	1,957
賞与引当金	7,576	6,566
役員賞与引当金	156	110
環境対策引当金	2,092	1,119
その他	20,983	15,960
流動負債合計	198,419	181,445
固定負債		
社債	35,000	25,000
長期借入金	59,508	82,223
繰延税金負債	4,061	15,837
再評価に係る繰延税金負債	659	281
役員退職慰労引当金	768	673
環境対策引当金	2,826	3,843
退職給付に係る負債	10,762	12,620
その他	4,757	4,225
固定負債合計	118,344	144,706
負債合計	316,763	326,152
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,449	30,427
利益剰余金	212,136	216,357
自己株式	△3,656	△3,660
株主資本合計	276,101	280,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,415	25,627
繰延ヘッジ損益	△3	△26
土地再評価差額金	1,537	657
為替換算調整勘定	712	290
退職給付に係る調整累計額	△9,203	△3,702
その他の包括利益累計額合計	△2,539	22,846
非支配株主持分	35,574	36,210
純資産合計	309,136	339,353
負債純資産合計	625,899	665,506



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	490,421	412,722
売上原価	409,382	351,526
売上総利益	81,039	61,196
販売費及び一般管理費	56,270	51,126
営業利益	24,768	10,070
営業外収益		
受取利息	197	163
受取配当金	1,893	1,466
雇用調整助成金	7	3,366
為替差益	—	65
持分法による投資利益	760	—
その他	883	1,690
営業外収益合計	3,743	6,753
営業外費用		
支払利息	793	823
持分法による投資損失	—	189
固定資産除却損	814	969
環境対策引当金繰入額	891	1,194
環境対策費	348	123
為替差損	312	—
その他	1,053	880
営業外費用合計	4,214	4,181
経常利益	24,298	12,642
特別利益		
投資有価証券売却益	48	143
固定資産売却益	7,638	—
特別利益合計	7,686	143
特別損失		
減損損失	5,842	2,720
固定資産圧縮損	2,772	—
投資有価証券評価損	2,072	—
その他	127	—
特別損失合計	10,815	2,720
税金等調整前当期純利益	21,170	10,065
法人税、住民税及び事業税	7,796	4,413
法人税等調整額	1,298	△315
法人税等合計	9,095	4,097
当期純利益	12,075	5,968
非支配株主に帰属する当期純利益	1,087	1,451
親会社株主に帰属する当期純利益	10,987	4,516

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	12,075	5,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,914	21,180
繰延ヘッジ損益	△2	△23
為替換算調整勘定	△392	△313
退職給付に係る調整額	△7,564	5,586
持分法適用会社に対する持分相当額	△86	41
その他の包括利益合計	△20,961	26,471
包括利益	△8,886	32,439
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△9,979	30,874
非支配株主に係る包括利益	1,093	1,564

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	37,172	30,285	203,299	△3,651	267,106
当期変動額					
剰余金の配当			△5,116		△5,116
親会社株主に帰属する当期純利益			10,987		10,987
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		△0		0	0
連結範囲の変動		164	2,966		3,130
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△1			△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	163	8,836	△5	8,995
当期末残高	37,172	30,449	212,136	△3,656	276,101

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	17,495	△0	1,537	983	△1,614	18,402	32,631	318,140
当期変動額								
剰余金の配当								△5,116
親会社株主に帰属する当期純利益								10,987
自己株式の取得								△5
自己株式の処分								0
連結範囲の変動								3,130
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△13,079	△2	—	△270	△7,588	△20,942	2,942	△17,999
当期変動額合計	△13,079	△2	—	△270	△7,588	△20,942	2,942	△9,004
当期末残高	4,415	△3	1,537	712	△9,203	△2,539	35,574	309,136

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	37,172	30,449	212,136	△3,656	276,101
当期変動額					
剰余金の配当			△1,066		△1,066
親会社株主に帰属する当期純利益			4,516		4,516
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		△0		0	0
連結範囲の変動			△109		△109
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△21			△21
土地再評価差額金の取崩			880		880
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△21	4,221	△3	4,195
当期末残高	37,172	30,427	216,357	△3,660	280,297

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	4,415	△3	1,537	712	△9,203	△2,539	35,574	309,136
当期変動額								
剰余金の配当								△1,066
親会社株主に帰属する当期純利益								4,516
自己株式の取得								△4
自己株式の処分								0
連結範囲の変動								△109
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△21
土地再評価差額金の取崩								880
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	21,211	△23	△880	△422	5,500	25,386	636	26,022
当期変動額合計	21,211	△23	△880	△422	5,500	25,386	636	30,217
当期末残高	25,627	△26	657	290	△3,702	22,846	36,210	339,353

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	21,170	10,065
減価償却費	24,662	25,912
減損損失	5,842	2,720
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	61	△74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△347	△1,007
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71	△45
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△26	△94
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	704	44
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,663	764
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	630	2,223
受取利息及び受取配当金	△2,091	△1,630
支払利息	793	823
為替差損益 (△は益)	31	△90
持分法による投資損益 (△は益)	△760	189
投資有価証券売却損益 (△は益)	△48	△143
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,072	8
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,794	△140
有形固定資産除却損	1,091	952
固定資産圧縮損	2,772	—
売上債権の増減額 (△は増加)	16,128	△7,949
たな卸資産の増減額 (△は増加)	9,109	8,333
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,242	△760
その他	△275	△1,259
小計	49,750	38,843
利息及び配当金の受取額	2,394	1,759
利息の支払額	△812	△820
法人税等の支払額	△10,298	△6,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,033	33,766
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△885	△845
定期預金の払戻による収入	128	851
有形固定資産の取得による支出	△45,415	△27,819
有形固定資産の売却による収入	8,406	169
投資有価証券の取得による支出	△874	△214
投資有価証券の売却による収入	60	259
貸付けによる支出	△84	△40
貸付金の回収による収入	37	84
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△288
その他	△698	△1,553
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,326	△29,395

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,108	△2,511
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	9,000	△7,000
長期借入れによる収入	15,934	32,791
長期借入金の返済による支出	△16,355	△17,773
社債の発行による収入	15,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△5	△4
子会社の自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△5,114	△1,074
非支配株主への配当金の支払額	△647	△426
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△519
その他	△392	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,526	2,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△89	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,144	7,387
現金及び現金同等物の期首残高	40,728	57,843
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,970	328
現金及び現金同等物の期末残高	57,843	65,558

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の利益管理を行っており、「特殊鋼鋼材」「機能材料・磁性材料」「自動車部品・産業機械部品」「エンジニアリング」「流通・サービス」の5つを報告セグメントとしています。

「特殊鋼鋼材」は自動車・産業機械向けを中心とした構造用鋼・工具鋼等を生産・販売しております。「機能材料・磁性材料」は自動車・産業機械、電気・電子部品製造用のステンレス鋼・高合金製品および磁材製品、チタン・粉末材料等を生産・販売しております。「自動車部品・産業機械部品」は自動車および産業機械向けの型鍛造・素形材製品等を生産・販売しております。「エンジニアリング」は鉄鋼・工業炉・環境関連設備の生産およびメンテナンス事業を行っております。「流通・サービス」は不動産事業および福利厚生等のサービス事業を行っております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。



## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	181,674	167,356	97,343	26,583	17,463	490,421	—	490,421
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59,788	13,681	23,589	908	14,065	112,033	△112,033	—
計	241,462	181,038	120,933	27,492	31,529	602,455	△112,033	490,421
セグメント利益	5,148	13,638	430	2,960	2,581	24,759	9	24,768
セグメント資産	205,409	223,556	143,256	20,099	23,820	616,142	9,756	625,899
その他の項目								
減価償却費	7,294	7,899	8,055	266	1,147	24,662	—	24,662
持分法適用会社への 投資額	6,212	6,185	515	210	—	13,124	655	13,779
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	11,428	15,719	11,794	429	859	40,230	—	40,230

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	145,842	149,420	80,750	20,205	16,504	412,722	—	412,722
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,375	11,834	19,605	1,054	12,450	97,320	△97,320	—
計	198,218	161,254	100,355	21,259	28,954	510,043	△97,320	412,722
セグメント利益 又は損失(△)	△2,632	12,172	△2,109	858	1,786	10,074	△4	10,070
セグメント資産	216,184	239,602	131,935	15,022	23,617	626,362	39,144	665,506
その他の項目								
減価償却費	8,013	8,926	7,451	308	1,212	25,912	—	25,912
持分法適用会社への 投資額	6,170	5,975	492	197	—	12,835	703	13,539
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	7,525	10,759	5,247	386	529	24,448	—	24,448

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	6,417円37銭	7,111円48銭
1株当たり当期純利益	257円76銭	105円96銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	10,987	4,516
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	10,987	4,516
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,628	42,627

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	309,136	339,353
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	35,574	36,210
(うち非支配株主持分)(百万円)	(35,574)	(36,210)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	273,561	303,143
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	42,628	42,627

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 補足説明資料

## (1) セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2021年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	2021年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	145,842	-35,831 (-19.7%)	△2,632	-7,780
機能材料・磁性材料	149,420	-17,936 (-10.7%)	12,172	-1,465
自動車・産業機械部品	80,750	-16,593 (-17.0%)	△2,109	-2,540
エンジニアリング	20,205	-6,378 (-24.0%)	858	-2,101
流通・サービス	16,504	-959 (-5.5%)	1,786	-794
調整	—	—	△4	-14
計	412,722	-77,698 (-15.8%)	10,070	-14,698

## (2) 要約連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	2021年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	412,722	-77,698 (-15.8%)
営業利益	10,070	-14,698 (-59.3%)
営業外損益	2,572	3,042
経常利益	12,642	-11,656 (-48.0%)
特別損益	△2,576	551
税引前純利益	10,065	-11,104
法人税等	4,097	-4,997
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,451	364
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,516	-6,471 (-58.9%)

(鋼材売上数量(単体) 978千t、前期差 198千t減)

## (3) 当期の経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	120	1. 販売数量減少	162
2. 固定費の改善	79	2. 販売価格下落	107
3. 変動費の改善	2	3. 内容構成差他	79
4. 営業外損益	30		
計 (a)	231	計 (b)	348
		差引 (a) - (b)	-117

(参考：原料・為替市況)

	2020年 3月期	2021年 3月期
H2 建値 (千円/t)	20.6	24.9
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.3	6.8
為替レート(TTM) (円/\$)	109.7	107.1

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2020年 3月末	当期 2021年 3月末	増減額	科目	前期 2020年 3月末	当期 2021年 3月末	増減額
流動資産	310,641	319,364	8,722	負債	316,763	326,152	9,389
現金	59,558	67,314	7,756	営業債務	66,821	65,589	-1,232
営業債権	118,281	125,918	7,636	有利子負債	193,881	198,812	4,931
たな卸資産	127,174	118,532	-8,641	その他	56,060	61,750	5,690
その他	5,627	7,599	1,971				
固定資産	315,257	346,142	30,884	純資産	309,136	339,353	30,217
有形固定資産	237,492	231,846	-5,646	株主資本	276,101	280,297	4,195
無形固定資産	1,619	2,721	1,101	その他の包括利益 累計額	△2,539	22,846	25,386
投資その他の資産	76,145	111,574	35,429	非支配株主持分	35,574	36,210	636
資産合計	625,899	665,506	39,607	負債純資産合計	625,899	665,506	39,607

## (5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	予想 2022年 3月期	前期差 増減額 (増減率)	予想 2022年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	182,000	36,157 (24.8%)	4,000	6,632
機能材料・磁性材料	182,000	32,579 (21.8%)	23,000	10,827
自動車・産業機械部品	97,000	16,249 (20.1%)	5,500	7,609
エンジニアリング	21,000	794 (3.9%)	0	-858
流通・サービス	18,000	1,495 (9.1%)	2,500	713
調整	—	—	—	4
計	500,000	87,277 (21.1%)	35,000	24,929

(鋼材売上数量(単体) 1,255千t、前期差 277千t増)

## (6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2022年 3月期	前期差 増減額 (増減率)
売上高	500,000	87,277 (21.1%)
営業利益	35,000	24,929 (247.6%)
経常利益	36,000	23,357 (184.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,500	18,983 (420.3%)

## (7) 予想経常利益増減要因 (前期対比)

(単位：億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 販売数量増加	253	1. 原燃料等市況	264
2. 販売価格是正	162	2. 固定費の増加	51
3. 内容構成差他	91	3. 営業外損益	15
4. 変動費改善	49		
5. 決算期変更	9		
計(a)	564	計(b)	330
		差引(a) - (b)	234

(参考：原料・為替市況)

	当期 2021年3月期	予想 2022年3月期
H2 建値 (千円/t)	24.9	38.0
ニッケル(LME) (\$/1b)	6.8	8.5
為替レート(TTM) (円/\$)	107.1	105.0

## (8) 連結設備投資額 (工事ベース) および減価償却費

(単位：百万円)

	前期 2020年 3月期	当期		予想	
		2021年 3月期	増減額	2022年 3月期	増減額
設備投資額	37,529	24,448	-13,081	20,000	-4,448
減価償却費	24,662	25,912	1,249	26,700	787

(参考) 連結業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想 2022年3月期
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
売上高	505,219	543,255	490,421	412,722	500,000
営業利益	36,218	33,815	24,768	10,070	35,000
経常利益	36,130	34,343	24,298	12,642	36,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	23,920	21,182	10,987	4,516	23,500